



# 上山小学校「風のたより」

令和6年10月9日（水） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、  
自らの未来を切り拓く児童を育成する



## 実るほど 頭を垂れる 稲穂かな！

「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」  
皆さんが御存知の故事ことわざです。

「稲が実を熟すほど穂が垂れ下がるように、人間も学問や徳が深まるにつれ謙虚になり、小人物ほど尊大に振る舞うものだ」という意味を成します。子どもたちはややもすると、学び得たことや経験したことがうれしくて、自慢したり誇張して話したりすることがあります。



また、大人も立場や年を重ねることで横柄な態度をとる方もちらほら。しかし、自分を上手にアピールすることも大切な時代です。できるのに、わかっているのに一步下がるのが美德とされる日本独特の風潮も残っておりますが、それではこれからの世の中を生き抜くことは難しいようです。謙虚さを持ち合わせながら、自分を表現できる子どもの育成とそれが認められる環境（支持的風土）づくりが大切であると考えます。私たち大人が手本となることが一番の学習となるのではないのでしょうか。



しあわせのフリンプ

しあわせになるために  
生まれてきたんだから  
好きな人と一緒にいなさい

大切なことなんか  
わかってくるんだから  
好きなことをやっていきなさい

それでもどうしても  
やりきれなくなった時は

この空を見上げて  
やさしかった頃のことを思って  
なつかしくなったら  
しあわせだって言って  
笑っていなさい

玉置浩二（抜粋）

## 継続できますように！

実は、私が朝校門に立つのは子供たちのためではなく、自分のためであるのかもしれないと最近思っています。子供たちには不思議な力あり、どんなに不機嫌であろうとも私にエネルギーを与えてくれます。我が子が可愛くない保護者はいませんので、朝から保護者から叱られてこようとも人間そのものの無垢なオーラをまとめて登校してきます。表情は暗くても・・・(=\_=)「たかがあいさつ」ですが、「されどあいさつ」です。小さなことですが、これからも気持ちの良いあいさつを継続して交わしていきたいと思えます。



児童会では、「スマイル上山」の実現に向けて取り組みを行いました。その名も「スマイル上山大作戦」です。これを機会に大勢の子供たちがあいさつの気持ち良さに気づいて、作戦を立てずとも自然と交わせるようになればと期待しています。(\*^\*)

## 目標をもう一度明確に！

WARANAYA FARM&CAFE (大村市) では美味しいピザやコーヒーがいただけます。高地にあるので気温も少し低めです。人里離れたところですから自分時間を過ごすには最適です。

さて、先月、6年生と佐賀・福岡方面へ修学旅行に行っていました。初日の暑さには参りましたが、それぞれの見学地で学び得るものがたくさんありました。2日目のキッザニアでは、約70の職種がある中、たくさんの職業体験をした子供たち、学びの意識をもった子供たちにはとても有意義な体験だったと思います。10年後の判断・決断につながれば幸いです。



今年度も折り返し地点を過ぎました。年度当初に立てた目標の確認と修正を行う時です。ただ過ごすだけでなく意識的に日々を送ってほしいと願います。

☆上山小のHPもご覧ください。学校だより(表)の2次元コードをご利用ください。